



年 組 名前

【ロンドン共同】英政府は17日、選挙権を得る年齢を18歳から16歳に引き下げる方針を発表した。2029年までに実施される次回総選挙からの適用を視野に入れており、議会で関連法案が成立する公算が大きい。実現すれば、既に16歳以上に選挙権が付与されているオーストリアやアルゼンチンと並び、世界最年少水準となる。

英BBC放送によると、国政レベルでの選挙権引き下げは、21歳から18歳になった1969年以来。次回総選挙では、約150万人の16〜17歳が新たに有権者に加わると見込まれている。

選挙権年齢の引き下げは現与党の労働党が昨年の総選挙で公約に掲げていた。若年層ではリベラル寄りの労働党の支持率

英選挙権 18歳→16歳に 次回総選挙から 政府方針

が最大野党の保守党に比べ高い。保守党は労働党の票獲得戦略だとして引き下げに反対している。

政府は「若者たちは仕事や納税、兵役で社会に貢献しており、自分たちが影響を受ける問題について投票する権利を得ることになる」と意義を説明する。英国では北部スコットランドと西部ウェールズの自治政府が議会選などで16歳に選挙権を付与している。

世界の主な国政選挙の選挙権年齢

16歳	オーストリア、ブラジル、アルゼンチンなど
18歳	日本、米国、ドイツなど世界の約9割
20歳	カメルーン、ナウルなど
21歳	シンガポールなど

※ユニセフなどによる

2025年 7月19日(土) 朝刊 全道版 7ページ (記事は再編集しています)

- (1) イギリス政府が選挙年齢を引き下げる方針を示したのは、どのような考えによるものか、記事を参考に書きなさい。
- (2) 日本の選挙権年齢は現在18歳となっています。このことについて、あなたの考えを書きなさい。